

学びのR

No. 3 2 (令和2年9月)
 埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

※※ 「指導と評価の一体化」で授業改善⑥ ※※ ～「図画工作科、美術科」編～



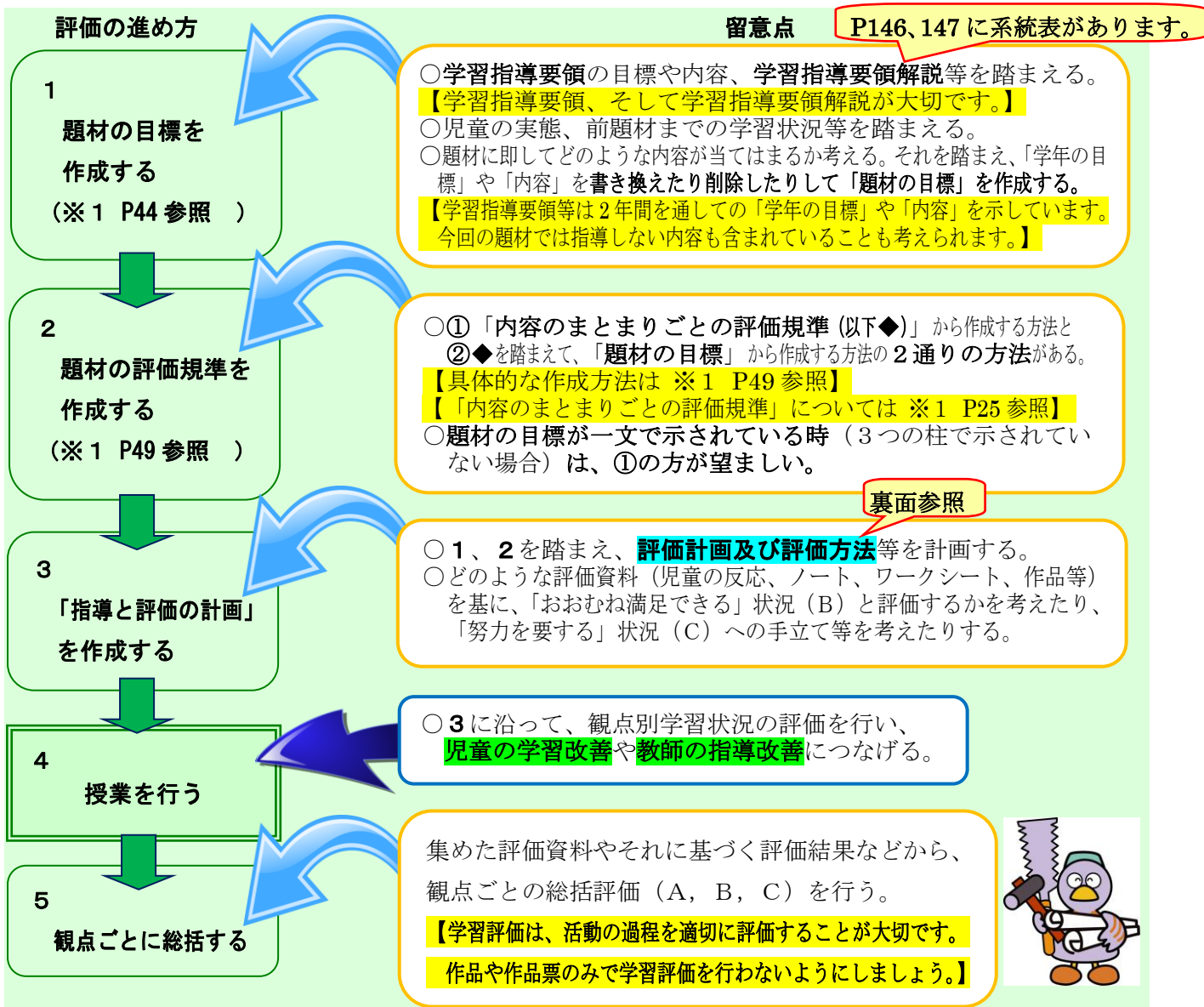
埼玉県マスコット
「コバトン」

※「指導と評価の一体化」の視点から、図画工作科、美術科の「題材の目標」、「題材の評価規準」、「指導と評価の計画」等を考えます。(図画工作科を例に整理を進めていきます。)

今回の学習指導要領の改訂では、学習評価の改善の基本的な方向性については、

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくことと示されています。【「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 図画工作(以下※1) P5より】

評価は、次のように進めることが考えられます。(次の方法によらない事例もあります。)



評価計画及び評価方法例 (○：指導に生かす評価を行う ◎：全員の学習状況を記録に残す評価を行う)

事例「ギョギョアーティスト」(第4学年)
木をのこぎりで切ったり、組み合わせたりして立体に表す活動

観点	時	1	2	3	4	5	6	評価方法	
知識・技能		○ 技	○ 技			◎ 知 技		行動観察・対話・表現	
思考・判断・表現				○ 発	◎ 発		◎ 鑑	行動観察・対話・表現・記述	
主体的に学習に取り組む態度		→						◎	行動観察・対話



知=知識に関して評価をする。**技**=技能に関して評価をする。

☆1、2時間目は記録に残す評価はしないが、「技能」の視点で学習状況を把握し、指導に生かす。
それを踏まえて5時間目に「技能」の視点で児童の活動の姿などを捉え、記録に残す。

☆5時間目は「知識」、「技能」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残す。

発=発想や構想に関して評価をする。**鑑**=鑑賞に関して評価をする。

☆3時間目は記録に残す評価はしないが、「思考・判断・表現(発想や構想)」の視点で学習状況を把握し、指導に生かす。
それを踏まえて4時間目に「思考・判断・表現(発想や構想)」の視点で児童の活動の姿などを捉え、記録に残す。

☆6時間目は「思考・判断・表現(鑑賞)」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残す。

☆「主体的に学習に取り組む態度」は、活動全体を通して把握し、最後に記録に残す。

具体的な学習評価の方法

学習評価の方法	具体的な視点、留意点など
行動観察	・手や体の動き、友人との関わりなどに注目し、「児童が○○している」という状態を見取る。 ・「初めは○○していたが、途中から○○している」というように、時間経過による変容を見取る。
発言	・発言やつぶやきから、児童の思いや意図、悩みなどを把握する。
表情	・活動中の表情やまなざしを手掛かりにして、児童の思い、意図していることなどを推測する。ときには、声掛けを控えて、見守ることも大切である。
対話	・称賛や助言をしたり、尋ねたりしながら対話をする中で、児童の思いや意図、悩みなどを把握する。製作過程や鑑賞活動中の児童同士の対話にも耳を傾ける。
表現・作品	・表現、製作の過程を追い、発揮された児童の資質や能力、思いや意図の変容を見取る。近付いて児童の目線で見ること大切である。 ・完成作品からは、発想の過程や製作の手順をたどり、そこに発揮されている児童の資質や能力、思いや意図の変容を読み解いていく。 ・児童自らが、展示方法や見せ方を考えながら、自分の表現や作品を写真や動画に記録したものなどを参考にして、思いや意図を読み取る。
記述	・「学習カード」「鑑賞カード」「自己評価カード」「作品カード」などを工夫し、その記述から、発揮された児童の資質や能力、思いや意図の変容を見取る。共感的に教師のコメント(評価)を加え、作品の見方を提示したり、学習活動の成果を価値付けたりすることも大切である。 ・児童自らが思いを深め、学んだことを振り返ることができるようにするとともに、児童同士で互いの思いや発見を分かち合えるようにする。

・活動の過程を適切に評価することが大切です。完成した作品のみで学習評価を行うことがないようにしましょう。

・作品は、子供自身であるという思いを基に、何を表現し、何を考えているかを聞き手として受容し、その後、切り返しを行うことで、子供の思いや考えを整理してあげましょう。

・発揮された児童の資質や能力、思いや意図の変容を見取ることが大切です。作文や説明が分かりやすいかのみを評価することがないようにしましょう。

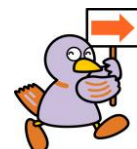
【埼玉県小学校教育課程指導・評価資料(以下※2) P160より】

記録の方法については、※2 P160 参照

引用・参考

「小学校学習指導要領」、「小学校学習指導要領解説 図画工作編」、
「中学校学習指導要領」、「中学校学習指導要領解説 美術編」
「埼玉県小学校教育課程・評価資料」
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

文部科学省
埼玉県教育委員会
国立教育政策研究所



「学びのR」
はこちらからも御覧いただけます!

